

ソーシャルワーカーのためのデータシステム講習会【北海道会場】

【講演テーマ】 「ソーシャルワーカーがデータ作成をする意義」

【講師】 日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 准教授 中谷 陽明 氏

【講習テーマ】 「SWHS2010 ソーシャルワークデータシステムについて」

【講師】 病院ソーシャルワーカー業務指針開発委員会

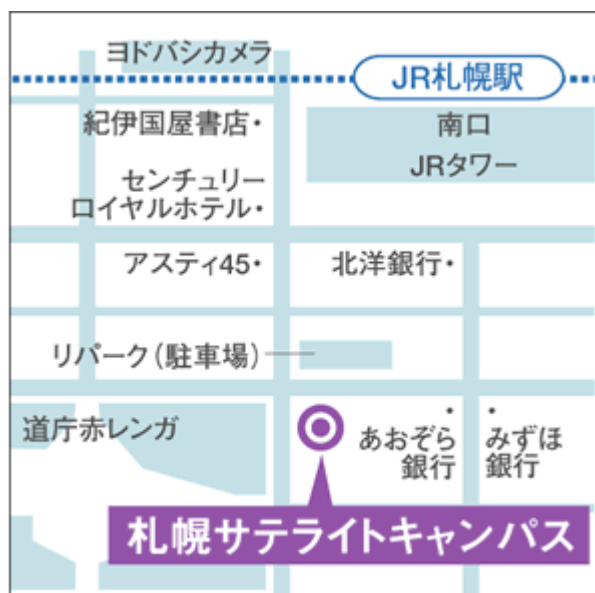
【開催日時】 2010年3月27日（土） 13:30～16:30

【プログラム】

13:30～14:30 講演

14:30～16:30 病院ソーシャルワーカー業務指針開発委員会による講習

【会場】 北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス
(札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル5階ACU内)



【定員】 100名

【申込期間】 2010年2月1日（月）～3月12日（金）

【申込方法】

当協会ホームページより研修情報の受講申込書フォームに必要事項をご記入の上お申し込みください。なお、日本医療社会事業協会会員を優先とし、定員になり次第締め切りとなります。また、申し込みが定員を超えることが予想されますので、同一機関で1名のみの参加でお願いいたします。

【参加費】 会員 1,500円 (資料代込)

当日会場受付でお支払いください。

*参加者にはCD及び操作マニュアルを配布致します。

*申込者が多い場合には、病院に1枚のCDとさせていただきます。

独立行政法人医療福祉機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

*病院・診療所等に所属するソーシャルワーカーのためのデータシステムを開発しました。日報・患者サマリ・個別援助以外の業務が簡単に入力でき、自動的に所属機関に提出するための報告書が作成できます。

*各病院のデータは個人情報削除したものを日本医療社会事業協会に送付いただき、全国的なデータとして集計することができます。

*この事業は、長寿社会福祉基金の助成金を受け、現場のソーシャルワーカーと研究者、富士通FIPとで共同開発しました。

*会場では、講演会とSWシステムの講習会を行います。

日報



サマリ



個別以外の業務



報告書

